

わたしたちは、地域の人々のつながりを大切に、一人ひとりの「ふだんの 暮らしの しあわせ」をともに追求します

# たけとよのふくし

令和6年  
9月1日号

第175号

今月の表紙  
石川県珠洲市での  
災害ボランティア活動

特集

## 災害後の生活を取り戻すために ～大規模災害とボランティア～



### 今月号の主な内容

- 武豊町共同募金委員会からのお願い
- 世界アルツハイマー月間
- 【参加者募集】 災害ボランティア養成講座  
50代からのヘルストレーニング、ボランティア塾

写真提供：珠洲市社会福祉協議会（石川県）

この広報紙は、みなさまから寄せられた社会福祉協議会費を財源に作成しています。



# 災害後の生活を取り戻すために ～大規模災害とボランティア～

大規模災害が発生すると被災地にかけるボランティア  
被災者にとってボランティアは どのような力を与えてくれるのか  
令和6年1月1日に発生した能登半島地震  
現地の人々の「語り」からわかった ボランティアの力を得ることの重要性とは

▲地震による家屋倒壊と津波被害を受けた地域（珠州市/令和6年4月）

## 「厳しい現実」

### 石川県珠州市の住民が語る被災後の暮らし

私たちの地域は、震度5以上の地震を何度も経験していたので、ある意味「地震慣れ」していました。昨年5月(注1)に地震があったときには、わが家を含め、多くの家が被害を受けたので、家を直し終わった頃に、新年を迎えました。令和6年1月1日は、コロナウイルスが落ち着いてから、はじめての正月。離れて暮らす家族が珠州市に帰郷し、久しぶりにみんなと顔をあわせる、市内にはそんな家が多かったと思います。

#### この世の終わりだと感じた地震

最初の地震(注2)があり、私は携帯電話を取りに部屋の中を移動していました。夫は納屋の様子を確認するため屋外に出ていました。そこに2度目の大きなゆれがきました。地震のゆれを、たてゆれ、よこゆれと表現すると思いますが、この時は、ぐるぐるまわるような感覚で、「この世の終わりだ、死ぬかもしれない」という恐怖を感じました。気づいたときには家が倒壊。私がいた場所は、偶然すき間ができており、助かりました。自力で外に出ると、家の1階が完全につぶれていました。

崩れた納屋の方からは、助けを求める夫の声が聞こえました。夫がいる場所を特定し、瓦などのガ

レキを取り除いて、助け出すことができました。

夫は建物が倒壊した直後、気を失っていたそうです。近所の人が大声で呼び掛けてくれた声で、意識を取り戻しましたが、それまでの間、過去の記憶が走馬灯のように浮かぶ体験をしたと言っています。もし、近所の人声掛けがなかったら「死んでいたかもしれない」と話していました。

夫を助け出した後は、2人で崩れた家から布団を取りだし、近所の避難所に向かいました。後になってわかったことですが、夫はろっ骨を骨折していました。

私たちの住む地域には、約90軒の家がありました。この地震で残っていたのは5軒ほど。それほど大きな地震でした。

#### 安否をつないだ唯一の持出品 「携帯電話」

地震後、2～3時間は電話が特につながりにくい状況でした。私は偶然、携帯電話を持ち出していたので、息子と連絡をとることができ、ホッとしたのを覚えています。長期間、家族と安否確認がとれず、行方不明届が出されていた人がいたという話も聞いています。災害後の安否確認が、本当に大事だと身をもって感じました。

注1: 能登半島では、この30年間に震度5以上の地震が8回発生。令和5年5月には震度6強の地震が観測されている。

注2: 令和6年1月1日の能登半島地震では、16時06分に前震が発生。その4分後に最大震度7の本震がおり、多くの家屋が倒壊し、津波も発生した。

地震に備え非常持出品の入ったリュックサックは用意してありましたが、家が倒壊してしまえば取り出すことも困難です。今回の地震で、何よりも必要な非常持出品は、私にとって携帯電話でした。

## 水は出ても排水ができない

現在、私は仮設住宅で生活していますが、地震のあった翌々日からしばらくの間は、息子の家に避難するため珠洲市を離れました。地震直後は道路状態が悪いうえ、絶え間なく通る緊急車両を優先しなければならない状況でした。通常なら息子の家まで2時間半から3時間ほどで行けるところ、14時間かけて移動しました。

自宅で生活ができず、避難所に移った人たちは、とても大変だったと聞いています。市内で営業している店は限られ、食事の確保も難しかったため、支援物資で食事をつないだそうです。地震から1か月ほどたって、避難所に段ボールベッドなどが届いたそうですが、避難所によって物資の届き方も異なっていたと聞いています。

今回の地震では、「水」の復旧がなかなか進まず、生活に影響しています。今でも、水道が使えない地域があります。市役所が行う水道の工事は、自宅前の道路までです。自宅敷地内の配管は自分た

ちで業者に依頼して復旧しなければいけません。また、水道が通っても、排水や浄化槽が使えなければ、水を流すことができません。地震後、一時市外に避難していた人が珠洲市に戻ってきましたが、浄化槽が使えないことから、再度、珠洲市を離れてしまったということも聞いています。珠洲市での生活をあきらめ、市外に引越していく人もたくさんいます。

## やらなければならないことはたくさんあるが…

1月の地震で自宅に住めなくなり、生活が大きくかわりました。市役所が相談会や説明会を開催していますが、まだまだ先の見通しが立たないので、どうなっていくのか不安があります。

やらなければならないことがたくさんあることはわかっていても、正直、何から手をつければいいのか、わからないんです。

全国からボランティアやNPOなど、さまざまな人たちが珠洲市まで来て、私たちの支援をしてくださっています。本当にありがたいことです。単に家の片付けや、生活の支援ということだけではなく、何から手をつけていいかわからない私たちが、前に進んでいくためには、自分たちの力だけでは、どうにもなりません。外部の人たちの助けが必要なんです。

## 私たちが前に進んでいくために ボランティアの力が必要です



この記事は、令和6年7月石川県珠洲市在住の女性にインタビューしたときの内容をまとめたものです。

### 災害ボランティア養成講座受講者募集

## 災害後の復旧・復興を 早めるコツ知ってますか？

**日時** 10月26日(土)  
13時30分～16時30分

**会場** 武豊町地域交流センター **定員** 50名(中学生以上)

**申込期間** 9月2日(月)～10月11日(金)

**申込み・問合せ** 武豊町社会福祉協議会 ☎0569-73-3104  
右の二次元コードからもお申込みいただけます

### こんな人にオススメです

- 災害ボランティア活動に興味がある人
- 防災活動に携わっている人
- 高齢者や障がい者対象の仕事や活動を行っている人



# 武豊町共同募金委員会からのお願い



赤い羽根共同募金運動は10月1日からはじまります

じぶんの町を良くするしくみ

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします



令和5年度、皆さまからお寄せいただきました共同募金は、計4,743,585円でした。そのうち県内福祉施設に約18%が武豊町社会福祉協議会に約82%が配分されました。この配分金を受けて、武豊町社会福祉協議会は、今年度の高齢者・障がい者・子どもたちなど、町内の地域福祉活動の事業を実施しています。

共同募金の多くは、住民の皆さまからいただいている「戸別募金」となります。その他にも募金をしていただける方法として、法人事業所様からいただく法人募金や、学校内で呼びかけをしていただく学校募金などがあります。今年度も赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

## 赤い羽根共同募金の助成団体決定

赤い羽根共同募金の配分金事業として「地域福祉活動支援事業 ここちゃん活動助成金」の公開プレゼンテーションを6月23日に開催しました。審査の結果、以下の3団体への助成が決定しました。

- ・大足子どもひろば応援チーム 事業名「わいわい子どもひろばin大足」
- ・武豊オレンジカフェ 事業名「たけとよオレンジカフェ」
- ・馬場さくら会 事業名「竹灯籠作り」

## イベント募金のご案内

### 「第7回武豊ふれあい山車まつり」出店

日時:10月13日(日)9時~17時 場所:武豊町民会館 ※予備日 14日(月・祝)

### 「図書館フェスタ2024×赤い羽根共同募金」

日時:11月3日(日・祝)9時30分~12時 場所:武豊町立図書館玄関付近

### 「第41回武豊町産業まつり」出店

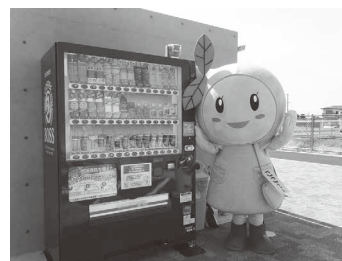
日時:11月9日(土)・10日(日)10時~15時 場所:武豊町民会館

## 自動販売機による募金運動

武豊町内にある公共施設には飲料を購入していただくと、その一部が赤い羽根共同募金になる自動販売機が設置してあります。

また、この自動販売機は、災害時に無料で飲料の提供を受けることができます。

設置場所:武豊中央公園、味の蔵、総合体育館、運動公園



問合せ

武豊町共同募金委員会 (武豊町社会福祉協議会内)  
☎ 0569-73-3104

7月20日

## 費用は?すぐに入れるの? 施設についての講座と茶話会

東大高公民館

**富**貴小学校区の住民を対象に、介護が必要な高齢者が入所する特別養護老人ホームについて学習会が行われました。83名が参加し、会場は満席になるなど、関心の高さが伺えました。

社会福祉法人福寿園の職員から、利用料金や待機者数、施設での生活などについて説明。その後、施設以外でも自宅など住み慣れた場所で安心して生活するため、何が必要かなどについて参加者で意見交換を行いました。



7月23日

## 大学生らが宿題をお手伝い 「宿題おわせ隊」

武豊町中央公民館

**夏**休みの宿題を通じて、世代交流をはかる「宿題おわせ隊」が開催されました。小学生が持ってきたポスターや工作などの宿題を大学生らが手伝いながら、一緒に取り組みました。休憩時間には、かき氷を作ったり、トランプなどの遊びもあり、にぎやかな時間を過ごしました。参加した小学生は「楽しかった」と振り返っていました。お手伝いした大学生は「教えるのは難しかったけれど、一緒になって楽しめました」と話してくれました。



7月27日

## 親子で夏の思い出づくり ヨット乗船体験

富貴ヨットハーバー

**ヨ**ットや海に親しんでもらおうと、富貴ヨットクラブのご厚意によるヨット乗船体験が行われました。このイベントは、毎年、武豊町母子福祉会が主催しており、今年で5回目になります。

7家族15名が5艇のヨットに分かれて乗船し、富貴ヨットハーバーから出発。90分ほどのクルージングを体験しました。参加者は「面白かった。また乗りたい」とこやかに話し、夏の思い出作りになったようでした。



7月31日

## 専門家から学ぶ! よくわかる相続のおはなし

武豊町中央公民館

**今**回の社会生活講座は、矢野法律事務所矢野和雄弁護士をお招きし開催しました。54名が参加され、相続や遺言に関する法律問題について学びました。

参加者からは「具体的で大変よくわかった」「疑問に思ったことも出てきたので自分でも調べてみようと思った」といった、相続の準備の必要性への理解や、きっかけになったという感想が寄せられました。



## 母子福祉会に加入しませんか?

ひとり親家庭、父子家庭も加入できます

バス旅行、いちご狩り、ヨット体験乗船などのイベント参加や会員同士の情報交換が行えます。

(年会費:500円)

**問合せ** 武豊町社会福祉協議会 ☎0569-73-3104

## 暮らしに役立つ情報が得られます 出前講座 申込み受付中

専門的な知識を持った職員やボランティアが、ご希望にあわせてお話をします。

**【講座実績】**高齢者のフレイル予防・介護保険制度  
子供向け防災講座・能登半島地震被災者のくらし

**問合せ** 武豊町社会福祉協議会 ☎0569-73-3104



第34回

私たちの生活を支える居場所やサービス  
人財等をご紹介します。

### 「仲良くなれる」から 楽しい

障がいがある人が地域清掃活動を行うときに、移動のサポートをしています。他にも調理実習や行事のお手伝いをすることもあります。1回あたりの活動時間は、比較的短く、都合がつかうときに活動しています。

障がいがある人と接する経験がなかったため、当初は「自分ができるのか」という不安もありました。徐々に仲良くなって、今では相手から話しかけられるようになりました。活動を重ねることで、「楽しさ」が増している実感があります。

ぜひ、みなさんにも同じ経験をしてみしてほしいです。

ボランティアサークルひだまり

きた がわ ゆう さく

代表 北川 勇作さん

ボランティアサークルひだまり

活動 1回1、2時間程度～

定例会 毎月第2木曜日 武豊町中央公民館

ボランティアサークルひだまりに関する問合せ先 武豊町社会福祉協議会 ☎0569-73-3104



9月は

## 世界アルツハイマー月間 です

1994年にアルツハイマー病の国際会議が行われた9月21日は「世界アルツハイマーデー」。その日を中心に9月を世界アルツハイマー月間として、世界中で認知症についての啓発活動や取組みが行われています。

### 武豊町での取組み予定

9月1日(日) 認知症関連書籍コーナー開設【武豊町立図書館】

～30日(月) オレンジガーデニングプロジェクト

～オレンジ色の花が咲きます～【町内各所】

認知症の啓発コーナー開設【役場ロビー】

9月19日(木) たまりん(認知症の人を介護する家族のあつまりの場)【思いやりセンター】

9月20日(金) 介護者のつどい【くすのきの里】

9月21日(土) 認知症を知る講演会～頑張りすぎず、しれっと認知症介護～【武豊町民会館】

9月26日(木) あれあれモーニング(もの忘れが心配な人とその家族のあつまりの場)

【思いやりセンター】



認知症についてのご相談、上記の取組みに関するお問合せは

**地域包括支援センター** ☎0569-74-3305

週1回からでもOK!  
ホームヘルパー募集!!

週1回でもOK! 時給1,807円～ 資格要件あり まずはお問合せください。  
武豊町社会福祉協議会 ☎0569-73-3104

## 車いすの貸出し

利用料無料

通院や外出など、一時的に必要な場合にご利用ください。

**対象** 町内に在住の方

**貸出期間** 15日以内

\*手続きの際、身分証明書が必要



詳細はこちら



## 福祉車両の貸出し

利用料無料

車椅子に乗ったまま乗降できるスロープ付きの車両です。

**対象** 町内に在住で車いす利用をする方  
及び介助する方

**貸出期間** 原則1日(旅行の場合は、3日以内)

**貸出車両** エブリイ  
(車いす利用者、運転手含め最大4名)  
スペースア  
(車いす利用者、運転手含め最大3名)

**手続方法** 運転者の免許証を持参の上、社会福祉協議会窓口へ。利用予約は貸出日の2か月前の同日から可能。



**注意** 燃料費と事故に伴う損害賠償、修理費用は利用者負担



詳細はこちら

## 武豊町社会福祉協議会 行事等の予定

### 9月 2024 September

1日	ひきこもり・不登校の家族会
1日	認知症サポーターフォローアップ研修
3日	スマホ教室
5日	ほっとCafé (12日・19日・28日)
7日	介護予防教室“50代からのヘルストレーニング” ～楽しもう、人生の長い午後～(14日・21日・28日)
8日	おいであ三井家「おとなりカフェ上ヶ」
9日	いこいこ笠松「おとなりカフェ笠松」(23日)
10日	こちゃんサポート相談(ひきこもり・不登校の専門相談)(24日)
13日	リフレッシュカフェ
14日	おいでん北山「おとなりカフェ北山」
15日	よし子さん家「おとなりカフェ玉西」
15日	パソコン要約筆記体験講座(22日・29日)
19日	理事会
19日	認知症介護家族集まりの場「たまりん」
20日	介護者のつどい
21日	認知症を知る講演会
21日	ひきこもり・不登校の居場所
26日	認知症カフェ「あれあれモーニング」

### 10月 2024 October

1日	赤い羽根共同募金開始(3月31日まで)
3日	ほっとCafé(10日・17日・26日)
5日	ボランティア塾
6日	ひきこもり・不登校の家族会
8日	こちゃんサポート相談(ひきこもり・不登校の専門相談)(22日)
11日	リフレッシュカフェ
12日	おいでん北山「おとなりカフェ北山」
13日	おいであ三井家「おとなりカフェ上ヶ」
14日	いこいこ笠松「おとなりカフェ笠松」(28日)
17日	認知症介護家族集まりの場「たまりん」
19日	ひきこもり・不登校の居場所
19日	介護予防教室“50代からのヘルストレーニング” ～楽しもう、人生の長い午後～(26日・27日)
20日	よし子さん家「おとなりカフェ玉西」
26日	災害ボランティア養成講座

## 寄付御礼

令和6年6月1日～令和6年7月31日

社会福祉のために多くの「まごころ」が寄せられました。深くお礼申し上げます。皆様からの寄付金・寄贈品は、寄付された方の希望される使途を尊重し社会福祉のため有効に活用させていただきます。

寄付者	寄贈品	寄付者	寄付金
匿名(36件)	米、野菜、レトルト食品、乾麺、調味料 日用品等	武豊町老人クラブ連合会	140,511円
		武豊町民ふれあいチャリティーゴルフ 大会実行委員会	263,111円
デイサービス榊原	じゃがいも	知多カントリー倶楽部	100,000円
サンクスカフェ	菓子	知多グリーン倶楽部	20,000円
日油(株)愛知事業所	アルファ米・缶入りパン	朝岡喜代治	20,000円
北川勇作	洗濯用洗剤	北川勇作	2,000円

## 食料品の寄付受け付けています。家庭等にある食料品で提供いただける品物はありませんか？

賞味期限切れや賞味期限が明記されていない食品、開封されている食品等は受け取りができません。(野菜やお米を除く)



詳細はこちら

## お困りごとは武豊町社会福祉協議会の「まるっここ相談」へ

私たち武豊町社会福祉協議会では、福祉の専門職がさまざまな相談に対応しています。以下に関することがありましたらお問い合わせやご相談ください。

- ・介護や高齢者の福祉サービス利用のこと
- ・ボランティアに関すること
- ・不登校や引きこもりに関すること
- ・障害福祉サービスの利用のこと
- ・経済的な困りごと

気になるボランティアを体験してみませんか？

# 体験 ボランティア塾

## こんな方におススメ!

- ◎ボランティアに興味はあるけど、何をどう始めていいかわからない方
- ◎今やっているボランティアとは違うこともやってみたい方
- ◎ボランティア活動で地域とつながりたい方



↑ 広報たけとよの音訳体験

1回目

10月5日(土) 10時~12時 (武豊町思いやりセンター)  
講話『ボランティアの楽しみ方』講師:元日本福祉大学准教授 木全克己氏  
昨年受講者の体験談など

2回目

10月13日(日)~11月14日(木) (団体・活動ごとの場所)  
ボランティアセンター登録団体のボランティアに参加する  
ボランティア活動体験(気になる活動一つ以上選択)

3回目

12月7日(土) 10時~12時 (武豊町思いやりセンター)  
体験の感想発表や今後の活動についてなどの座談会  
『コーヒークラブたけとよ』によるハンドドリップコーヒー付き



↑ 手話体験

**受講料** 無料 **定員** 20名

**申込み・問合せ**

**対象** どなたでも(原則3回とも受講できる方)

武豊町社会福祉協議会

**申込期間** 9月3日(火)から9月27日(金)

☎0569-73-3104



右の二次元コードからもお申込みいただけます。

## 50代からの **参加者募集中!!** ヘルストレーニング



~楽しもう、人生の長い午後~ **全日程10時~11時30分**

日程	場所	内容
9月7日(土)	ゆめたろうプラザ 練習室	ピラティスを基にしたストレッチ体操
9月14日(土)	中央公民館 第3・4会議室	歯科衛生士による口腔のお話と染め出し体験
9月21日(土)	ゆめたろうプラザ 練習室	ピラティスを基にしたストレッチ体操
9月28日(土)	中央公民館 第3・4会議室	管理栄養士による食事と栄養のお話
10月19日(土)	ゆめたろうプラザ 練習室	ピラティスを基にしたストレッチ体操
10月26日(土)	ゆめたろうプラザ 練習室	ピラティスを基にしたストレッチ体操
10月27日(日)	ゆめたろうプラザ 練習室	理学療法士による50代から始める膝関節痛予防

**定員** 20名

**対象** 50歳~70歳の方(全日程参加できる方が優先)

**申込み・問合せ** 武豊町地域包括支援センター ☎0569-74-3305



右の二次元コードからもお申込みいただけます。